

ソフトバンクと連携し 病院内の IoT ネットワーク 導入の実証実験に参画

株式会社 WHERE（代表取締役：丸田 一、以下「WHERE」）は、ソフトバンク株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）と連携し、順天堂大学医学部附属順天堂医院において、EXBeacon プラットフォームを活用した実証実験の取り組みを開始します。本実証実験では、国内で初めて^(※1) 医療機関の施設内に Bluetooth® mesh ネットワークを構築し、看護師の位置情報の検知などの技術的検証を行います。

1. 実証実験参画の背景

WHERE は、オフィスや工場、工事現場など様々な分野・領域で、建物施設全体をカバーする IoT 専用 LAN「EXBeacon プラットフォーム」を導入し、IoT 向けソリューションを展開してきました。この度、新たな領域として病院内に EXBeacon プラットフォームを構築し、ソフトバンクが目指すスマートホスピタルの実現に向けた実証実験に参画します。WHERE は、海外の病院で導入実績がありますが、国内では初めてのケースとなります。

2. WHERE の「EXBeacon プラットフォーム」技術

これまで、Bluetooth ビーコンを使った測位の仕組みでは高精度の測位結果が得られないと考えられてきました。WHERE では、独自開発した指向性アンテナを送受信機 EXBeacon に活用するとともに、独自の電波空間調整技術や測位エンジンを利用することで、高精度の測位を実現しています。また、相互に無線通信を行う EXBeacon は、電波が途切れても別ルートを迂回する冗長性や、置けばつながる設置自由度を有しており、病院内の様々なエリアに導入することができます。さらに、位置情報だけでなく、センサー情報を同時に収集することが可能で、看護師や患者のバイタル情報や環境情報（温度・湿度・照度など）、設備情報を集約する新しい LAN としても利用できます。

3. 今後の展開

WHERE は、国内外の病院・介護施設になくてはならない IoT 専用 LAN として活用されるべく EXBeacon プラットフォームの研究開発に注力し、ソフトバンクが目指すスマートホスピタルの実現に向けて技術的サポートを進めていきます。

※1 2019年3月14日現在、株式会社 WHERE 調べ

※ 本実証実験は、厚生労働省が定める「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」に従って実施します。

※ 本実証実験について順天堂大学およびソフトバンクが発表しているプレスリリースは以下の通りです。

順天堂大学とソフトバンク、スマートホスピタルの実現に向けて連携を開始

<https://www.juntendo.ac.jp/news/20190314-02.html>

https://www.softbank.jp/corp/group/sbm/news/press/2019/20190314_01/

- Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- WHERE および EXBeacon の名称、ロゴは、株式会社 WHERE の登録商標または商標です。
- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

株式会社 WHERE 経営企画本部 Tel : 03-6261-5722 E-mail : info@where123.jp